

令和5年度 第3期師団レンジャー集合訓練



駐屯地に帰還



体力調整「持続走」



連隊長よりレンジャー徽章授与



山地潜入(救出法)



空路潜入(リペリング)



体力調整「かがみ跳躍」



集合写真

第16普通科連隊(連隊長 1等陸佐 土肥 崇紀)は令和5年9月15日(金)から令和5年11月30日(木)までの間、大村駐屯地及び近傍地域を訓練場として、令和5年度師団レンジャー集合訓練を実施した。

本訓練は、陸上自衛隊で最も過酷な訓練であり、教育修了時に授与される月桂冠に燦然と輝くダイヤモンドのレンジャー徽章獲得を目指して、各部隊から選び抜かれた精鋭隊員が挑んだ。駐屯地グラウンド周辺には、隊員を激励する応援メッセージを掲示しレンジャー隊員を応援した。

令和5年11月30日(木)、最終想定任務を無事に完遂し駐屯地モニター、駐屯地OBの他、隊員家族、また駐屯地の隊員からの出迎えの中、20名が無事に帰還した。土肥連隊長の訓示では、任務完遂に対する労いと喜び、支えてくれた人々への感謝の意が述べられた。最後に「状況終了!」の言葉を放つとレンジャー隊員それぞれが感無量な思いをつのらせ駐屯地は感動の渦に満たされた。

その後、帰還した学生1人1人に連隊長が声をかけながらレンジャー徽章が授与された。誇らしげに胸を張る新たな精鋭レンジャーがここに誕生した。

第134地区警務隊訓練検閲 (警務隊)



編成完結式



命令下達



不審者に対する職務質問

第134地区警務隊 大村派遣隊(派遣隊長 1等陸尉 添田 壽人)は、令和5年11月30日(木)から令和5年12月6日(水)までの間、十字原演習場において第134地区警務隊訓練検閲を受閲した。

本検閲は、防衛行動時等における指揮官の状況判断、状況に即応する有機的な指揮幕僚活動、部隊の基本的行動及び隊員の基礎動作、被支援部隊の作戦への適合及び密接な連携に留意した警務科の各活動を進歩向上することを目的として行われた。検閲・不審者に対する職務質問・逮捕した被疑者の連行等、状況に応じ各派遣隊と協力・連携して行いそれぞれの任務を完遂した。訓練検閲を通じ、部隊の任務遂行能力の現状を把握するとともに今後の訓練の資を得ることができた。

師団長初度視察



出迎え



巡閲



友魂の碑献花



隊内巡視



地点指示

第45代第4師団長(陸将 戒田 重雄)は、令和5年8月30日(水)に着任され、令和5年10月24日(火)から令和5年10月25日(水)大村駐屯地所在の第4師団隷下部隊の初度視察を実施した。状況報告及び隊内巡視を行い、各部隊、施設の現状を把握した。